

## 学校図書館

よく「学校図書館」と「図書室」の違いを尋ねられますが、「学校図書館」は、学校図書館法規定された名称です。「図書室」といった場合、学校の中に本が集めてある場所を指します。

ご存じの通り「学校図書館」には、「読書センター」「学習センター」「情報センター」の3つの機能を果たすことが求められています。そのために福岡市では、学校図書館法に基づいて、学校長を館長とし、学校長が司書教諭を任命し、教育委員会より配置された学校司書と共に、学校図書館の施設等やその機能の充実に努めています。

司書教諭と学校司書の主な職務としては、以下のような職務が挙げられます

### <主として学校司書が行う職務>

- 整備
  - ・学校図書館メディアの組織化
  - ・調査統計・記録の作成
  - ・図書館施設・設備の維持・管理
  - ・展示・掲示の作成・管理
- 奉仕（利用者サービス）
  - ・学校図書館メディアの提供
  - ・学習活動の支援
  - ・レファレンスサービス
  - ・情報の紹介、資料リストの作成
  - ・読書案内
  - ・広報活動
  - ・機器の利用の支援

### <主として司書教諭が行う職務>

- 図書館経営
  - ・学校図書館経営方針の立案
  - ・学校図書館経営・運営計画の立案
  - ・管理・研修計画の立案
  - ・学校図書館組織の編成
  - ・規程・基準類の作成
  - ・学校図書館評価
  - ・校内・校外組織との連絡・調整
- 指導
  - ・読書指導の実施
  - ・学習指導の実施
  - ・情報活用能力育成指導
  - ・児童生徒や図書委員会の指導

学校図書館の職務のうち、学校司書は、整備と利用者サービス、司書教諭は、図書館経営と児童生徒への指導を主に担当します。また学校司書は、学校の図書館という特性から「児童生徒への教育支援」が、司書教諭は、図書館教育のリーダーとして「校内での他の職員への連絡・調整」が、特に重要となってきます。

このように細かく見ると、学校司書と司書教諭は、職務は違いますが、それぞれが個別に職務を遂行する訳ではありません。館長（学校長）を中心として、図書館運営の両輪となり、お互いに連絡調整を密にしながら、各校の子どもの状況に合わせた図書館作りをしていかなければなりません。

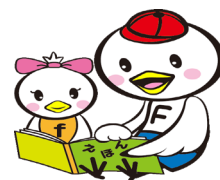
福岡市子ども読書活動推進計画（第4次）にあるように、学校図書館を中心に、学校教育全体で子どもが主体的・意欲的に読書活動を進め、豊かな心の育成と学力向上が図られるようにしていきたいものです。

## ☆ 学校図書館に置く本の冊数と種類

学校図書館に、置かなければならない本の冊数や種類については、整備目標として文部省が設定した学校図書館図書標準というものがあります。20学級の小学校では10,760冊、18学級の中学校では13,600冊となっています。

本の種類については、学校図書館図書基準（昭和34年文部省発表）の「3.資料構成」に蔵書の配分比率の参考表を示しています。また、社団法人 全国学校図書館協議会では、学校図書館メディア（図書、新聞、雑誌、CD・DVD、電子書籍等）の数量基準を定めた「学校図書館メディア基準」を発表しており、蔵書の分類ごとのかたよりをなくするための参考として「標準配分比率」を定めています。さらに、図書を選択する際の基準となる「図書選定基準」や利用できなくなった図書を廃棄する際の「図書廃棄規準」も定めています。詳細は、社団法人 全国学校図書館協議会のホームページをご覧ください。

## 福岡市学校図書館支援センター



総合図書館には、教育委員会の教育支援課、小学校教育課、中学校教育課、図書サービス課の4つの課が連携し事業をおこなう「福岡市学校図書館支援センター」があります。

学校図書館支援センターでは、学校図書館が持つ「読書・学習・情報」の3つのセンター機能が、学校での子ども達の学習に十分に発揮されるように、学校の先生方や学校司書の皆様等を支援しています。

学校図書館支援センターでは、主に、以下の3つの支援をおこなっています。

- 子どもの読書活動推進の相談
- 学校図書館運営のための相談と学校訪問
- 学校支援用図書の貸し出し

学校図書館の運営にあたり、疑問点やお困りの点等、支援センターの職員がお応えしています。子どもの読書活動の推進や学校図書館の運営でお困りのことがありましたら、まずは、支援センターにお電話ください。お待ちしております。

福岡市学校図書館支援センター TEL 092-852-0639  
(運営時間：毎週月～金 10:00 ～ 18:00)

令和5年も、残り8日となりました。今年は、どのような1年だったでしょうか。

来年は、辰年。想像上の生き物「龍」に例えられ、龍の象徴する「力強さ」や「成功」を象徴し、新たな始まりやチャンス之年と言われています。令和6年も、皆様の飛躍の年となることを祈念しております。

<須藤>



## 1月のことと人

### 1.10 110番の日

警察では、電話番号にちなみ、毎年、1月10日を110番の日としています。

110番の適切な利用を呼び掛けると共に、緊急の対応を必要のしない電話により相談は#9110番の利用を呼びかけています。

### 1.29 南極の日

南極の日は二つあります。ひとつは、12月14日「南極の日」、ノルウェーの探検家アムンゼンが初めて南極点に到達した日。もうひとつが1月29日「南極の日 昭和基地開設記念日」です。昭和基地は東オングル島にあります。

齋藤 隆介 (1917.1.25~1985.10.30)

東京都生まれ。児童文学作家。短編童話集『ペロ出しチョンマ』で、1968年に第17回小学館文学賞。秋田地方の方言やオノマトペをふんだんに使い、民話の体裁をとった創作童話が有名である。教科書の「モチモチの木」の作者として有名である。

ルイス・キャロル (1832.1.27~1898.1.14)

イギリス生まれ。作家や詩人だけでなく数学者、論理学者、写真家としても知られる。作家としてのルイス・キャロルは、1865年出版の『不思議の国のアリス』や『鏡の国のアリス』の作者として有名である。

棕 鳩十 (1905.1.22~1987.12.27)

長野県生まれ。日本における動物文学の代表的人物である。1952年に『片耳の大鹿』で文部大臣奨励賞を受賞している。教科書の「大造じいさんとがん」の作者として有名である。また、鹿児島県の多くの小・中・高等学校の校歌を作詞している。

李錦玉 りくむおく (1929.1.30~2019.7.2)

大阪府生まれ。2004年詩集『いちど消えたものは』で第35回赤い鳥文学賞、第9回三越左千夫少年詩賞を受賞。朝鮮民話の再話も多く、教科書の「三年とうげ」や「へらない稲たば」などの作者として有名である。

## 図書館員のひみつの本棚 第 212回

今日は、食べ物の絵本をご紹介します。

『おすしやさんにいらっしやい!』

おかだ だいすけ／文 遠藤 宏／写真 岩崎書店 2021年 ¥1600(税別)

<お勧め年齢>

乳幼児★★☆ 小低学年★★★★ 小中学年★★★★ 小高学年★★★★ 中学生★★☆  
高校★★☆ 一般★★☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

お寿司屋さんのカウンターで、子どもたちは魚がお寿司になっていく様子を、見て、さわって、においをかいで、そして最後に美味しくいただきます。普段よく目にする切り身でなく、丸ごとの魚はこうして食べ物となって自分の命のもとになっていくのだと実感していく子どもたち。その驚きと喜びの生き生きとした表情が素晴らしい、臨場感あふれる写真絵本です。作者は、お寿司屋さんで、魚をさばいて料理に仕上げるまでを子どもたちに見せ、自分たちの命がたくさんの命からできていることをお寿司を通して伝える活動をされています。

<子どもに手渡す時のポイント>

美しい写真でわかりやすく構成されており、魚に興味のある子もそうではない子も、小さい子から大人まで、まるで自分もお寿司屋さんのカウンターと一緒に座って見ているかのように、ワクワクしながら魚について学ぶことが出来ます。命をいただくことについて考えるきっかけとしてもおすすめの本です。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。

